

新聞部 第15回全国高校新聞年間紙面審査賞

最優秀賞を受賞



表彰式で壇上にかかる部長の小島君(左)と副部長の宮本さん(右)

4年連続5回目



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

8月3日から7日にかけて福島県で『第35回全国高等学校総合文化祭』が行われた。新聞部門では4日に第15回全国高校新聞年間紙面審査賞が発表され、東高新聞部は最優秀賞(5校)に選ばれた。同賞の受賞は4年連続で5回目となる。

『東高生に読んでもらうため』

「受賞できたのは先輩方の努力の積み重ねのおかげ。私たちも先輩から受け継いだものを後輩に伝えていきたい」と話してくれた。

今後の新聞部について小島君は「今は10月に発行する特大号の取材、編集を行う

部長の小島眞司君(27)は「審査員の方々に評価していただけて大変うれしい。校名が呼ばれたときは喜びを感じたのと同時にホッとしました」と発表時を振り返り、「部員たちの日々の努力の積み重ねが受賞につながったのではないかと思う」と話した。また、副部長の宮本理絵さん(22)は

「受賞できたのは先輩方の努力の積み重ねのおかげ。私たちも先輩から受け継いだものを後輩に伝えていきたい」と話してくれた。

年間紙面審査賞は1年間に発行された本紙や速報新聞など全ての新聞が対象となつて評価される。今回は一昨年の12月から昨年11月までの新聞が対象となった。審査では本紙を12回、速報新聞キマグレを153回発行したことが評価された。レイアウトやデザインの工夫による編集技術とセンスの向上も認められた。

最優秀賞の受賞について部長の小島眞司君(27)は「審査員の方々に評価していただけて大変うれしい。校名が呼ばれたときは喜びを感じたのと同時にホッとしました」と発表時を振り返り、「部員たちの日々の努力の積み重ねが受賞につながったのではないかと思う」と話した。また、副部長の宮本理絵さん(22)は「受賞できたのは先輩方の努力の積み重ねのおかげ。私たちも先輩から受け継いだものを後輩に伝えていきたい」と話してくれた。



賞状と盾を手にする部長の小島君(左)と副部長の宮本さん(右)